

「始める」を応援する 江戸川総合人生大学の情報紙

Begin!

ビギン

better life in EDOGAWA
No.
51
2023.11

人生大学の情報紙

「Begin!～better life in EDOGAWA」は、
毎号、一つの「動詞」をテーマに、
皆さまの「始める」を応援していきます。
今号は「歩く」。ページをめくって、
江戸川区での暮らしを楽しむヒントを
ぜひ見つけてください。

歩 く。





「歩く」の効用

人生大学 江戸川まちづくり学科では、2年次に二つの自主研究を行います。

一つが、地域の課題解決や魅力向上の計画をつくる「協働まち普請」。もう一つが「卒業研究」。江戸川区のさまざまな課題について、クラス内にチームをつくったり、個人で取り組み、発表します。

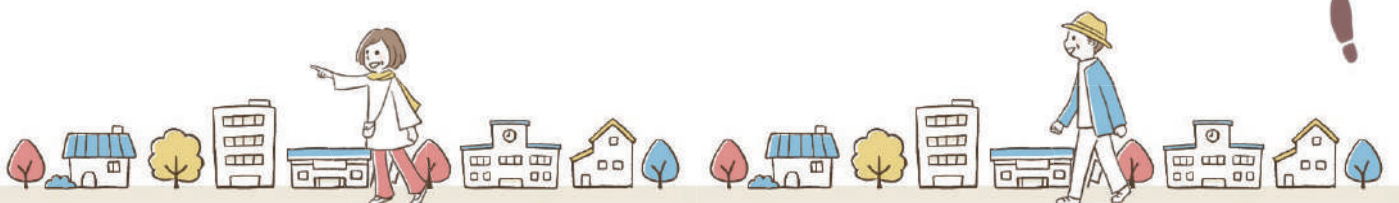
どちらも、まちを歩き、観察することから始まります。「歩く」スピードは、時速3～5キロメートル。自動車や自転車に比べてずいぶんと遅いです。でもそれだけに、道の微妙な高低差やわき道、曲がりくねった道の存在に気づくことができます。



人生も後半となって、いままで見落としてきたことに気づかされる体験も、また楽しいものです。今号では「歩く」をテーマに、人生大学の学生から「始める」ヒントをたくさんいただきました。

散歩、散策、ウォーキング……いつもの見なれた街、新しい街。気分を変えて歩くと、新しい発見があるかもしれません。秋から冬へ。季節の移ろいを感じながら、ちょっと歩いてみませんか？

江戸川総合人生大学 情報紙編集委員





一周すると1500m！

地図を片手のまち歩きが一番ですが、いつもの道を四季の移り変わりを楽しみ、さらに健康を意識して歩くのも好きです。

お奨めの散歩コースは「新左近川親水公園」。緑の多い水辺の歩道に100mごとに表示があり、体調に合わせて距離ごとに無理なくインターバル速歩をしながら、一周1500mを歩くことができます。

まちづくり17期 真瀬 健一



見つけました！

船堀駅に新しいモニュメントが設置されていました。「四つのテスト」がかかれています。

- ・みんなに公平か
- ・真実かどうか
- ・みんなのためになるかどうか
- ・好意と友情を深める

どれだけ実行できているか考えさせられました。

これからも新しい何かを見つけに散歩を続けます。

まちづくり18期 成田 光正

「四つのテスト」は国際ロータリーの基本理念の一つとして世界に広がった



竹の花と出会える広場

篠崎の「竹と親しむ広場」は、24種類の竹がいつもきれいな緑で、休憩ができるあずまやもあります。

竹の花が10年間、毎年咲いていましたが、今年は咲かなかったそうです。

竹は花が咲くと枯れるといいますが、ここは、部分開花なので大丈夫です。来年は咲いてくれるでしょうか。

子育てささえあい18期 片岡 利子



富士山頂に立ちました！

篠山間の小さな村で子供時代を過ごした私。

学校まで片道1時間、風雨に負けず通学。

そのお陰か、胸突き八丁の急坂に悩まされつつも、憧れの富士の頂上に立つことができた！

あの感動を胸に、生涯現役を目指し歩くことに専念している次第!!

子育てささえあい18期 平野 和子



舟の出入りは必見！ 荒川の名所

地域防災拠点に指定されている大島小松川公園、春の桜並木は絶景です。土手を葛西橋方面に歩くと、「荒川ロックゲート」があります。

小名木川と旧中川が3.1m水位の高い荒川に合流のための閘門があり、舟の出入りは水位を調節して行っています。

介護・健康17期 池田 正子





新川と街並み



新川三角橋の夕暮れ

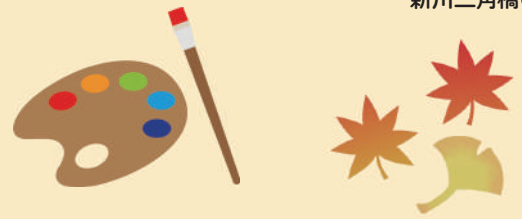
「歩く」の数式

「歩く」≡「散歩」≡「絵になる風景を探す」…こんな集合関係が存在しています。

もう一つ「考える」≡「歩く」≡「大事な時間」という式もあります。

新川を考えながら散歩し、美しい風景に出会うと、思わず絵筆をとります。

介護・健康18期 川端一



『歩く』を始める

人生大学の情報紙編集委員が見つけた魅力のスポットなどを
写真や絵、メッセージとともにご紹介します。

人生、一歩一歩

後戻りができない一方通行の人生。

ゆっくりと、少し速足で、時にはかけ足で。

江戸川総合人生大学で素晴らしい友ができ、
地域デビューのきっかけをつくることができました。

国際コミュニティ17期 吉川 敬吉



早朝の空に
見つけた
月もパチリ!!



インドア派の「歩く」は…

情報誌51号のテーマは「歩く」。

久しぶりに実家近くの土手を歩こうか？

桜が咲いたら散歩するあの辺りにしようか？

だが、やっぱり基本インドアな私。

今日もドラマ見ながら家の中で「歩く」。

子育てささえあい17期 福田 裕子

電柱に注目！

日陰を探しながら早朝に歩く。

有明の月だなと眺めるとトランスが
付いていない電柱が目に入る。

調べると自動開閉器もセンサ内蔵型が登場し、
配電自動化も急速に発展しているとのこと。

近くの大きなトランスが気になっていた電柱が、
最新鋭になっていた。

まちづくり18期 白井 たけ子



川沿いでの出会い、愛おしい姿

あまり散歩などしない私ですが、ちょっと気が向き、我が住まい周辺（小松川、平井）を歩いてみました。荒川沿いを歩いていると、川で遊ぶ鳥たちの中に、道端で佇むきれいな白い鳥（シラサギ?）、何か思い詰めているように見えました。

何を思っているのでしょうか？

その姿が愛おしく感じられ、そっと傍を離れました。

国際コミュニティ17期 大塚 恭子



愛犬との楽しい時間

私にとって歩くとは愛犬との散歩です。

面倒になる時もありますが、嬉しそうな顔に励まされ、雨の日以外は毎日行きます。

季節の移り変わりや小鴨の赤ちゃんに会えたりと楽しい時間を一緒に歩いています。

子育てささえあい17期 佐藤 晴美



第一歩を踏み出そう

歩く機能が衰えても

私たちは歩き続けている。

歩くことは元気な人の特権ではない。一万歩より、距離を縮めるための第一歩に価値がある。

歩いたら立ち止まり、考え、また歩出そう。歩きたくなったら人生大学のあのひと。

国際コミュニティ18期 染谷 信夫



小松川のひととき

小松菜の由来の新小岩香取神社に足を向けました。

徳川吉宗が鷹狩で食事するのに香取神社が選ばれ、

これといった食材もなく、餅の澄まし汁に青菜を彩りに添えたところ、吉宗がこの青菜を気に入り、神社の地名から小松菜と命名したとも言われています（諸説あり）。

神社の東を流れる小松川境川親水公園では、木々が茂り、小川のせせらぎがとても涼しげで、外国のお二人が足をつけて、おしゃべりに夢中。

井戸端会議を連想して、ほっこりを見つけました。

介護・健康18期 木代 紀美子



歩きのあとのお楽しみ

まち歩きにはたくさん魅力がありますが、

歩き終わったあとにも、楽しい時間が待っています。

まずは銭湯。歩いて少しくたびれた身体を休めるため、大きなお風呂に入ります。とても気持ち良く充実です。

そして居酒屋さん。まち歩きを振り返り、お酒とおしゃべりで、心を満たします。

歩きには、こんな楽しみもあるのです。おすすめです。

まちづくり17期 花上 憲司



Let's Begin together!!

「旧中川 たのしい会」に 参加しませんか

旧中川河川敷の美化、
バタフライガーデン、ビオトープなどの
施設維持管理支援、
自然環境を活用しての教育支援などの
ボランティア活動を行います。



お問い合わせ

江戸川総合人生大学 まちづくり学科 18期生 風間
mail : kazama1944@jcom.zaq.ne.jp
旧中川たのしい会

葛西ミツバチプロジェクト スタート切りました!

人生大学情報紙Begin第50号の当欄で、
メンバー募集をさせていただきました。
興味をもっていただいた7名で、Kick-Offミーティングを
行いました。地元の公園や花を活かした
養蜂プロジェクト、いよいよスタートです!

初回ミーティング、ワイワイやりました

プロジェクト名は
葛西ミツバチプロジェクトに

まずは西洋ミツバチから
生態、養蜂について学びましょう

設置場所…地域の可能な場所
を調べていきます



地元の花と緑を活かした農福連携、皆様の活躍の場を目指し、
仲間募集中です!

連絡先

江戸川総合人生大学 介護・健康学科18期 担当川端
mail : 22B205@jindai2004.onmicrosoft.com
なごみの家長島桑川 所長 吉川 TEL:03-3680-2753

大学祭が開かれました!

「学び・助けあう・豊かな心」をテーマに、令和5年7月22日に
タワーホール船堀で盛大に開催されました。
学生の学びの成果を展示・体験・ステージで披露され、
大人から子どもまで500名を超える来場者に、
大変楽しかったとの感想をいただきました。



ステージ

展示

体験

Begin な仲間たち(同窓会だより)

人生100年時代と言われる今、自分の足で自分の人生を歩きたい
という願いは誰もが持つものです。しかし、世界は戦争や対立、パン
デミックなどで不安定さを増しています。物質的には豊かでも、心の
充実感が得られないと感じる人も少なくありません。そんな時には、
少しでも前に進むことが大切です。

私は同窓会活動を通じて、前に進むことの楽しさを実感しています。人
生大学で学んだことを実践し、自分らしく好きなことや得意なことを

見つけて活動しています。思いがけない成果や発見が
あります。一人ではなく、仲間と共に歩んでいます。

同窓会活動は皆に喜びを与えるだけでなく、地域社会
にも貢献しています。自分の足で自分の人生を有意義
に歩むことは、年齢に関係なく価値のあることだと思
います。一歩一歩確実に進んでいきたいと願っています。

江戸川総合人生大学同窓会会長 松浦松子



編集後記

人生大学は2年間のカリキュラムで、10月に入学式、9月に卒業式があります。
今年も、9月11日(月)に17期生の卒業式があり、69名が卒業しました。
そして、10月4日(水)に19期生の入学式があり、96名の新入学生を迎えました。
この期間に合わせて、人事情報紙『Begin』の編集委員も交代します。次号から
は、18期と19期のメンバーが中心となって作っていきます。ご期待ください!
まちづくり17期 花上 憲司

編集委員 (◎=編集長 ○=副編集長)

◎花上憲司・真瀬健一(まち17)、大塚恭子・吉川敬吉(国17)
佐藤晴美・○福田裕子(子17)、秋葉成人・池田正子(介17)
○白井たけ子・○成田光正(まち18)、斉藤順子・染谷信夫(国18)
片岡利子・平野和子(子18)、川端一・木代紀美子(介18)

